

川崎異業種研究会(以下略称川異研)は、当所会員企業から成る異業種交流のグループです。昭和62年7月に設立され、今年で24年目を迎えます。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

7月移動定例会 川崎フロンターレVSサンフレッチェ広島(ナビスコカップ)を観戦

平成23年7月27日(水)、7月移動定例会と暑気払いを兼ね、会員及び従業員とその家族総勢62名で、恒例の川崎フロンターレ応援ツアー(等々力競技場)を開催した。

試合の前半は、広島に押し込まれて危ないシーンが多かったが、GKの好守に助けられ、1-1で終了。後半に入ると、広島の攻め疲れが出て川崎得意のカウンターで2点を奪い、3-1で大勝利、参加者一同大いに盛り上がった。この試合結果により、川崎フロンターレは、ナビスコカップ1回戦を勝ち抜き、2回戦に駒を進めた。

試合終了後、応援ツアー参加者はピッチに降りて、記念撮影を行い、参加者全員が大変満足した定例会となった。



7月分科会 経理の専門家集団によるアウトソーシング事業の紹介-戦略経営のススメ-

7月6日(水)高津市民館会議室にて、午後6時30分より開催した。

今回は「新入会員企業紹介」をテーマにして、本年度より川異研に入会頂いた株式会社経理バンク 取締役事業部長 河村 平様、住友雅彦様よりお話を頂きました。新入会員企業様より社業を発表頂くことで、会員相互の連携強化や事業理解を進めることができました。

また、経理バンクのコンセプトである戦略経営や経理のアウトソーシング、人材派遣事業という業態・業務内容は、モノづくり企業が多い川異研メンバーに取りましてはまさしく異業種の分野であり、強い興味や関心を持って多数のご参加を頂きました(会員12名、ゲスト1名、学生4名)。

経理バンクでは、様々な経理・会計アウトソーシングサービスを用意されています。経営・会計処理の全体から部分的な支援までがキメ細かく設定されていて、しかも明解な料金体制になっており、クライアント側の企業規模や要望に柔軟に対応できるサービスを提供されていることがわかりました。以前のような独立した会計士、税理士さんたちが一人で請け負っていたような世界で

は全くなく、組織としてシステムティックに経理・会計戦略を作成されていることに強い魅力を感じました。

また、財務情報を戦略的に分析して経営に役立てるFX2というシステムのご紹介も頂きました。経営の意思決定を支援する財務情報を的確に得ることは、新製品の開発や新市場の開拓に匹敵する経営戦略となると思いますので、そのための支援システムをご紹介頂きましたことは、経理・会計業務の新たな展開のヒントになったのではないかと推察しています。これからも、新会員企業様からの発表をお願いして、会員相互の連携強化や人材育成を図っていきたいと思います。(報告者 副会長 小林猛久氏)



加入のお問い合わせは

事務局：多摩麻生支所 TEL 044-932-1100